

D I ニュース

薬剤部 薬品情報係

新規採用医薬品通知

| | | |
|----------|---|-------------------------|
| (薬品名) | イメンドカプセル 80mg /125mg | 市販直後調査 平成21年12月～平成22年6月 |
| (英名) | EMEND | |
| (規格・含有量) | 1カプセル中アプレピタント 80mg・125mg | |
| (一般名) | アプレピタント | |
| (メーカー名) | 小野薬品 | |
| 【薬価収載日】 | 2009年12月 | |
| 【薬価】 | 3,380.90 円/80mg 4,946 円/125mg | |
| 【薬効コード】 | 87-2391 | |
| 【薬効分類名】 | 選択的 NK1 受容体拮抗型制吐剤 | |
| 効能・効果 | 抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む) | |
| 用法・用量 | 他の制吐剤との併用において、通常、成人にはアプレピタントとして抗悪性腫瘍剤投与 1日目は 125mg を、2日目以降は 80mg を 1日1回、経口投与する。 | |
| 禁忌 | (次の患者には投与しないこと) 1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. ピモジド投与中の患者 | |
| 相互作用 | 禁忌: ピモジド(オーラップ錠 1mg、3mg、細粒 1%) 本剤作用増強 CYP3A4 を阻害する薬剤(イトラコナゾール、エリスロマイシン、クラリスロマイシン、リトナビル等) 他剤作用増強 CYP3A4 で代謝される薬剤(デキサメタゾン、メチルプレドニゾロン、ミダゾラム等) 他剤作用減弱 ①CYP2C9 で代謝される薬剤(ワルファリン、トルブタミド、フェニトイン等)②ホルモン避妊法(エチニルエストラジオール等) 本剤作用減弱 CYP3A4 を誘導する薬剤(リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン等) その他 ジルチアゼム本剤及びジルチアゼムの代謝が競合的に阻害される。 | |
| 副作用 | 重大な副作用 皮膚粘膜眼症候群、穿孔性十二指腸潰瘍、アナフィラキシー反応 その他の副作用 頭痛、便秘、下痢、食欲不振、悪心、しゃっくり、ALT(GPT)上昇、無力症など | |
| 備考 | 新しい機序の制吐剤 | |

| | | |
|----------|--|--|
| (薬品名) | アラミスト点鼻液 27.5 μg 56 噴霧用 | |
| (英名) | Allermist 27.5 μg 56metered Nasal Spray | |
| (規格・含有量) | 1g 中 0.5mg フルチカゾンフランカルボン酸エステル含量 1回噴霧中 27.5 μg フルチカゾンフランカルボン酸エステル含有 | |
| (一般名) | フルチカゾンフランカルボン酸エステル | |
| (メーカー名) | グラクソ・スミスクライン | |
| 【薬価収載日】 | 2009年6月 | |
| 【薬価】 | 2032.70 円/本 | |
| 【薬効コード】 | 87-1329 | |
| 【薬効分類名】 | アレルギー性鼻炎治療剤 | |
| 効能・効果 | アレルギー性鼻炎 | |
| 用法・用量 | 成人には、通常 1回各鼻腔に 2 噴霧(1 噴霧あたりフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして 27.5 μg を含有)を 1日1回投与する。 | |
| 禁忌 | 1. 有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症の患者 2. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 | |
| 相互作用 | 本剤作用増強 CYP3A4 阻害作用を有する薬剤(リトナビル等) | |
| 副作用 | 重大な副作用 アナフィラキシー反応 | |

| | | |
|----------|-----------------------------------|-------------------------|
| (薬品名) | ルミガン点眼液 0.03% | 市販直後調査 平成21年10月～平成22年4月 |
| (英名) | LUMIGAN OPHTHALMIC SOLUTION 0.03% | |
| (規格・含有量) | 1mL 中 ビマトプロスト 0.3mg | |

| | |
|---------|---|
| (一般名) | ビマトプロスト点眼液 |
| (メーカー名) | 千寿製薬 |
| 【薬価収載日】 | 2009年9月 |
| 【薬価】 | 960円/mL |
| 【薬効コード】 | 87-1319 |
| 【薬効分類名】 | 緑内障・高眼圧症治療薬 |
| 効能・効果 | 緑内障、高眼圧症 |
| 用法・用量 | 1回1滴、1日1回点眼する。 |
| 禁忌 | 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 |
| 相互作用 | - |
| 副作用 | 重大な副作用 虹彩色素沈着 その他の副作用 結膜充血、眼そう痒症、眼瞼色素沈着、角膜びらん、睫毛の異常(睫毛が長く、太く、濃くなる等)、眼瞼の多毛症 |
| 備考 | プロスタマイド誘導体、 頻回投与により眼圧下降作用が減弱する可能性があるため、1日1回を超えて投与しないこと。 |

| | |
|----------|---|
| (薬品名) | オラペネム小児用細粒 10% |
| (英名) | ORAPENEM FINE GRANULES 10% FOR PEDIATRIC |
| (規格・含有量) | 1g中にテビペネム ピボキシル 100mg(力価)を含有する |
| (一般名) | テビペネム ピボキシル細粒 |
| (メーカー名) | 明治製薬 |
| 【薬価収載日】 | 2009年6月 |
| 【薬価】 | 580.9円/g |
| 【薬効コード】 | 87-6139 |
| 【薬効分類名】 | 経口用カルバペネム系抗生物質製剤 |
| 効能・効果 | <適応菌種> テビペネムに感性の黄色ブドウ球菌、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、インフルエンザ菌 <適応症> 肺炎、中耳炎、副鼻腔炎 ・肺炎球菌にはペニシリン耐性肺炎球菌及びマクロライド耐性肺炎球菌を含む。 ・インフルエンザ菌にはアンピシリン耐性インフルエンザ菌を含む。 |
| 用法・用量 | 通常、小児にはテビペネム ピボキシルとして1回4mg(力価)/kgを1日2回食後に経口投与する。なお、必要に応じて1回6mg(力価)/kgまで増量できる。 |
| 禁忌 | 1.本剤の成分によるショックの既往歴のある患者 2.バルプロ酸ナトリウムを投与中の患者 3.原則禁忌 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 |
| 相互作用 | 禁忌 バルプロ酸ナトリウム(デパケン、パレリン、ハイセレン等) |
| 副作用 | 重大な副作用 (類薬)ショック、アナフィラキシー様症状痙攣、意識障害偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎急性腎不全無顆粒球症、溶血性貧血、汎血球減少症皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群)間質性肺炎、PIE 症候群重篤な肝障害低カルニチン血症に伴う低血糖 その他の副作用 下痢・軟便など |
| 備考 | カルバペネム系抗生物質の臨床的位置づけを考慮した上で、本剤の使用に際しては、他の抗菌薬による治療効果が期待できない症例に限り使用すること。 |

| | | |
|----------|---|-------------------------|
| (薬品名) | ベネフィクス静注用 500/ベネフィクス静注用 1000 | 市販直後調査 平成21年12月～平成22年6月 |
| (英名) | BeneFIX Intravenous 500/1000 | |
| (規格・含有量) | 成分・含量(1バイアル中)(国際単位)ノナコグアルファ(遺伝子組換え) 500/1000 | |
| (一般名) | ノナコグアルファ(遺伝子組換え) | |
| (メーカー名) | ワイス株式会社 | |
| 【薬価収載日】 | 2009年12月 | |
| 【薬価】 | 54,654円/500単位 107,065円/1000単位 | |
| 【薬効コード】 | 87-6343 | |
| 【薬効分類名】 | 遺伝子組換え血液凝固第IX因子製剤 | |
| 効能・効果 | 血友病B(先天性血液凝固第IX因子欠乏症)患者における出血傾向の抑制 | |
| 用法・用量 | 本剤は製剤に添付された溶解液を全量用いて溶解し、数分かけて緩徐に静脈内に注射する。初回用量は通常、 | |

| | |
|------|---|
| | 本剤 50 国際単位/kg とするが、患者の状態に応じて適宜増減できる。また、次回以降は患者の状態、血液凝固第 IX 因子の上昇値 [(国際単位/dL)/(国際単位/kg)] に応じて適宜増減する。 |
| 禁忌 | 本剤の成分又はハムスターたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者 |
| 相互作用 | - |
| 副作用 | 重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状 その他の副作用 頭痛 その他 |

| | |
|----------|--|
| (薬品名) | エンシュア・H |
| (英名) | ENSURE・H |
| (規格・含有量) | 1 缶 (250mL, 375kcal) |
| (一般名) | - |
| (メーカー名) | アボットジャパン |
| 【薬価収載日】 | 1995 年 6 月 |
| 【薬価】 | 12.40 円/10mL (310 円/250mL) |
| 【薬効コード】 | 87-3259 |
| 【薬効分類名】 | たん白アミノ酸製剤 |
| 効能・効果 | 一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難で、単位量当たり高カロリー(1.5kcal/mL)の経腸栄養剤を必要とする下記の患者の経管栄養補給に使用する。 1. 水分の摂取制限が必要な患者(心不全や腎不全を合併している患者など) 2. 安静時エネルギー消費量が亢進している患者(熱傷患者、感染症を合併している患者など) 3. 経腸栄養剤の投与容量を減らしたい患者(容量依存性の腹部膨満感を訴える患者など) 4. 経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者(口腔外科や耳鼻科の術後患者など) |
| 用法・用量 | 標準量として成人には 1 日 1,000~1,500mL (1,500~2,250kcal) を経管又は経口投与する。1mL 当たり 1.5kcal である。なお、年齢、症状により適宜増減する。経管投与では本剤を 1 時間に 50~100mL の速度で持続的又は 1 日数回に分けて投与する。なお、消化吸収障害がなく経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者には 1 時間に 400mL の速度まで上げることができる。経口投与では 1 日 1 回又は数回に分けて投与する。 |
| 禁忌 | 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 牛乳たん白アレルギーを有する患者 たん白質や電解質の厳密な制限が必要な急性腎炎、ネフローゼ、腎不全末期の患者〔病態が悪化するおそれがある 悪心、嘔吐、下痢を合併している心不全患者 妊娠 3 カ月以内又は妊娠を希望する婦人へのビタミン A 5,000 IU/日以上の投与 |
| 相互作用 | - |
| 副作用 | 重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状 その他の副作用 下痢 |
| 備考 | 黒糖味 |

| | | |
|----------|--|--------------------------------|
| (薬品名) | ラピアクタ点滴用バイアル 150mg | 市販直後調査 平成 22 年 1 月~平成 22 年 7 月 |
| (英名) | RAPIACTA for Intravenous Drip Infusion | |
| (規格・含有量) | 含量〔1 瓶(15mL)中〕:ペラミビル水和物 174.7mg(ペラミビルとして 150mg に相当) | |
| (一般名) | ペラミビル水和物注射液 | |
| (メーカー名) | 塩野義製薬 | |
| 【薬価収載日】 | 2010 年 1 月 | |
| 【薬価】 | 3,117 円/瓶 | |
| 【薬効コード】 | 87-625 | |
| 【薬効分類名】 | 抗インフルエンザウイルス剤 | |
| 効能・効果 | A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症 | |
| 用法・用量 | 通常、成人にはペラミビルとして 300mg を 15 分以上かけて単回点滴静注する。 合併症等により重症化するおそれのある患者には、1 日 1 回 600mg を 15 分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。 なお、年齢、症状に応じて適宜減量する。 | |
| 禁忌 | 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 | |
| 相互作用 | - | |
| 副作用 | 重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状、肺炎、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)、中毒性表皮壊死症 (Lyell 症候群)、急性腎不全、血小板減少、精神・神経症状 (意識障害、異常行動、譫妄、幻覚、妄想、痙攣等)、出血性大腸炎 その他の副作用 下痢 | |

| | | | |
|----------|---|---|--------------------------------|
| (薬品名) | ミリプラ動注用 70mg | 劇 | 市販直後調査 平成 22 年 1 月～平成 22 年 7 月 |
| (英名) | MIRIPLA | | |
| (規格・含有量) | 1バイアル中ミリプラチン 70mg(ミリプラチン水和物 71.65mg 相当) | | |
| (一般名) | 注射用ミリプラチン水和物 | | |
| (メーカー名) | 大日本住友製薬 | | |
| 【薬価収載日】 | 2010 年 1 月 | | |
| 【薬価】 | 47,827 円/瓶 (361 円/懸濁用液) | | |
| 【薬効コード】 | 87-4291 | | |
| 【薬効分類名】 | 肝細胞癌治療剤 | | |
| 効能・効果 | 肝細胞癌におけるリピオドリゼーション | | |
| 用法・用量 | ミリプラチン 70mg を本剤懸濁用液 3.5mL に懸濁し、1 日 1 回肝動脈内に挿入されたカテーテルより投与する。本剤の投与は、腫瘍血管に懸濁液が充満した時点で終了すること。ただし、上限を 1 回 6mL(ミリプラチンとして 120mg)とする。また、繰り返し投与する場合には、4 週間以上の観察期間をおくこと。 | | |
| 禁忌 | 1.本剤、他の白金を含む薬剤又はヨード系薬剤に対する重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.重篤な甲状腺疾患のある患者〔本剤懸濁用液はヨード化合物であり、ヨード摂取量の増加により甲状腺障害を増悪させるおそれがある。〕 3.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 (次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること) 1.総ビリルビン値が 3mg/dL 以上の患者又は肝障害度 C の患者〔肝不全を起こすことがある。〕 | | |
| 相互作用 | — | | |
| 副作用 | 重大な副作用 肝機能障害、感染症、骨髄抑制 その他の副作用 AST(GOT)上昇)、ALT(GPT)上昇、LDH 増加、血中ビリルビン増加、 γ -GTP 上昇、血中アルブミン減少、ALP 上昇、ウロビリリン尿 背部痛、好酸球増多、リンパ球減少、血小板減少、好中球減少、白血球減少、単球増多、プロトロンビン時間延長、好塩基球増多、赤血球減少、白血球増多、ヘモグロビン減少悪心・嘔吐、食欲不振、血中アミラーゼ増加、下痢発熱、倦怠感、悪寒、疼痛、NAG 上昇、カリウム、カルシウム、ナトリウム、クロール等の電解質異常、尿中クレアチニン上昇、尿中クレアチニン減少、総蛋白減少、総蛋白増加、尿中蛋白陽性、CRP 上昇、血糖上昇、その他 | | |
| 備考 | ミリプラ用懸濁液(ヨード化ケン油脂肪酸エチルエステル) 4mL が必要 | | |

| | | | |
|----------|--|--|--|
| (薬品名) | アバプロ錠 100mg | | |
| (英名) | AVAPRO | | |
| (規格・含有量) | 1 錠中イルベサルタンとして 100mg 含有 | | |
| (一般名) | イルベサルタン | | |
| (メーカー名) | 大日本住友製薬 | | |
| 【薬価収載日】 | 872149 | | |
| 【薬価】 | 154.20 円/錠 | | |
| 【薬効コード】 | 87-2149 | | |
| 【薬効分類名】 | 長時間作用型ARB | | |
| 効能・効果 | 高血圧症 | | |
| 用法・用量 | 通常、成人にはイルベサルタンとして 50～100mg を 1 日 1 回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減するが、1 日最大投与量は 200mg までとする。 | | |
| 禁忌 | 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 | | |
| 相互作用 | その他 血清カリウム値の上昇 ①カリウム保持性利尿剤(スピロラクトン、トリアムテレン等)、②カリウム補給剤(塩化カリウム) | | |
| 副作用 | 重大な副作用 血管浮腫、高カリウム血症、ショック、失神、意識消失、腎不全、肝機能障害、黄疸、低血糖、横紋筋融解症 | | |

削除医薬品通知

●3月1日より

| | |
|-------------------|---------------------|
| ・ナボバンカプセル5mg | ・・・削除 |
| ・フルナーゼ点鼻液 | ・・・在庫消尽後削除 |
| ・ミケラン点眼液 1%5mL | ・・・削除 |
| ・ミオカマイシン DS20% | ・・・削除 |
| ・エンシュア経管投与用 500mL | ・・・削除(特別採用薬・要予約へ変更) |
| ・ピメノールカプセル | ・・・削除 |
| ・リポクリン錠 200mg | ・・・削除 |

適応追加通知

| | |
|------------------------------|--|
| ジェムザール注射用 200mg 1g | 手術不能又は再発乳癌 通常、成人にはゲムシタビンとして1回 1250mg/mを30分かけて点滴静注し、週1回投与を2週連続し、3週目は休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。 |
| エンブレル皮下注用 25mg シリンジ 0.5mL | (用法・用量の追加) 25～50mgを1日1回、週に1回 |